

# ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース（為替ヘッジあり）（年1回決算型）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2018年11月21日～2019年11月20日

第 6 期 決算日：2019年11月20日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、主として円建て外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざす運用を行うとともに、実質的な組入外貨建資産については、投資を行う外国投資信託において為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図ります。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第6期末（2019年11月20日）

基準価額	11,461円
純資産総額	276百万円
騰落率	+9.0%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

（受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

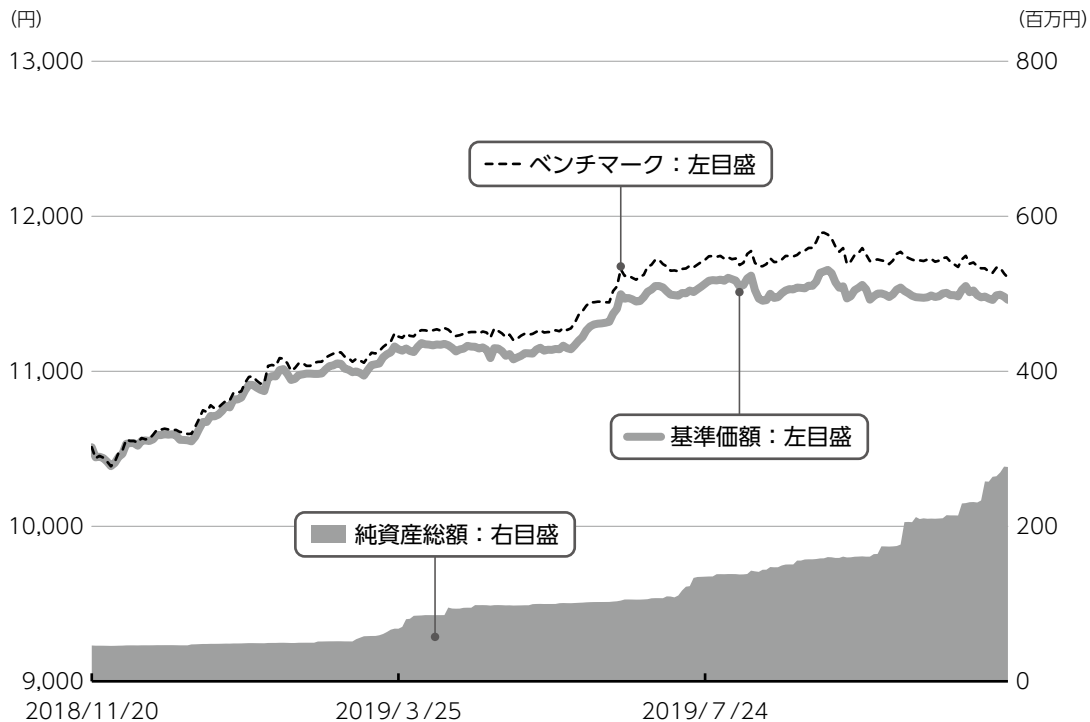
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第6期：2018年11月21日～2019年11月20日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第6期首	10,510円
第6期末	11,461円
既払分配金	0円
騰落率	9.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ9.0%の上昇となりました。

### ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（10.4%）を1.4%下回りました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

エマージング（新興経済国）債券市況が上昇したこと

### 下落要因

為替ヘッジによるコストがかかったこと

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド（円ヘッジベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年11月21日～2019年11月20日

▶ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	182	1.626	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
（投信会社）	(97)	(0.867)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(79)	(0.705)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.003	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	182	1.629	

期中の平均基準価額は、11,195円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

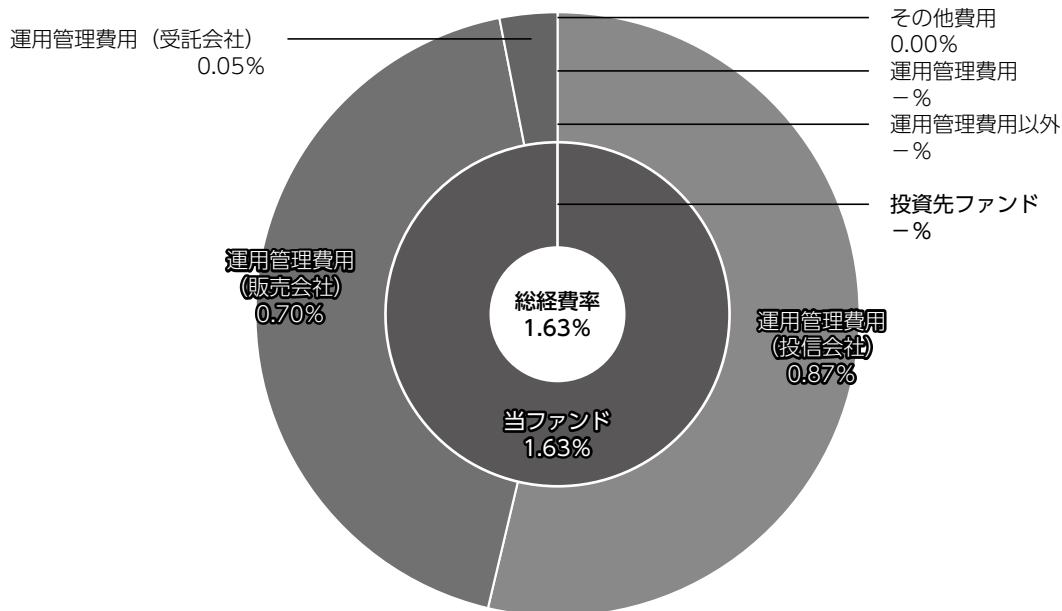
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.63%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.63
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.63
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	－
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	－

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

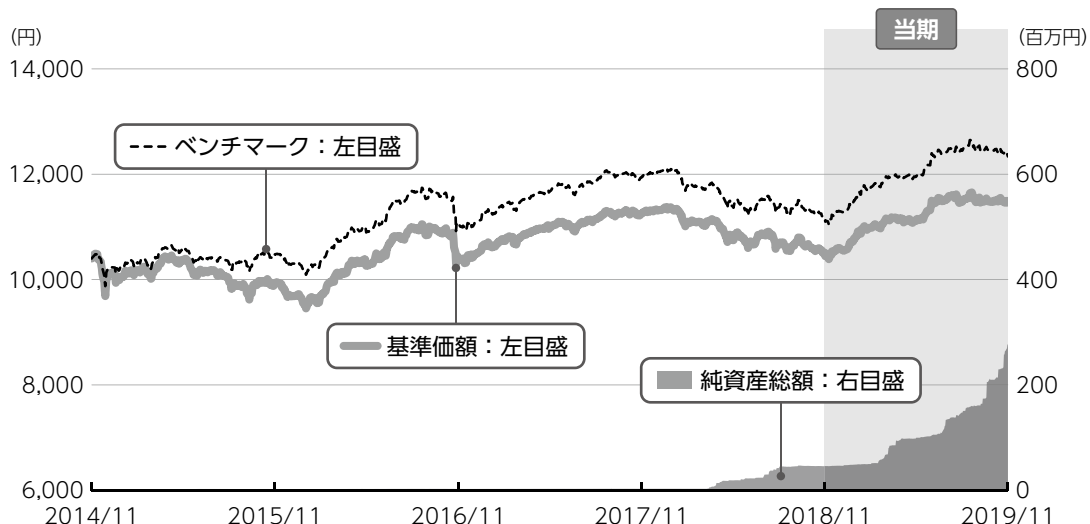
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年11月20日～2019年11月20日

### 最近5年間の基準価額等の推移について



※ベンチマークは、2014年11月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

### 最近5年間の年間騰落率

	2014/11/20 期初	2015/11/20 決算日	2016/11/21 決算日	2017/11/20 決算日	2018/11/20 決算日	2019/11/20 決算日
基準価額 (円)	10,401	9,936	10,388	11,256	10,510	11,461
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	-	-4.5	4.5	8.4	-6.6	9.0
ベンチマーク騰落率 (%)	-	0.7	5.2	8.5	-6.5	10.4
純資産総額 (百万円)	1	2	2	2	46	276

ベンチマークは、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド（円ヘッジベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**エマージング債券市況は堅調に推移しました。**

当期は、景気減速懸念の高まり等を背景に米連邦準備制度理事会（F R B）が当面政策金利を据え置く姿勢を示したことなどを受けて、米国金利が低下する中エマージング債券市況は堅調に推移しました。その後も米中貿易摩擦への懸念等を背景にF R Bが金融政策のスタンスをより緩和的な方向に転換し、政策金利を引き下げ中、エマージング債券市況は底堅く推移しました。その後、米中通商協議の進展に対する期待等を背景に米国長期金利は低下幅を縮小させ、エマージング債券市況の上値が重い展開となったものの、期を通じて見ると堅調に推移しました。

### ▶ 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年11月20日のコール・レートは-0.04%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)

円建て外国投資信託であるピムコ エマージング ボンド (エン・ヘッジド) インカム ファンドへの投資を行い、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を継続しました。

### ▶ ピムコ エマージング ボンド (エン・ヘッジド) インカム ファンド

新興経済国の政府および政府機関等の発行する債券等に投資を行いました。

## 為替

組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

## 国別配分戦略

国別配分戦略については、ファンダメンタルズが良好と考えているナイジェリアを積極姿勢としていた他、バリュエーション上の魅力があり、国際通貨基金

（IMF）の支援が見込まれると考え、アルゼンチンに対して積極姿勢としていた場面がありました。なお、アルゼンチン債券市況が下落したことはマイナスに作用しました。

- ▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**  
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### ▶ ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース（為替ヘッジあり）（年1回決算型）

ファンドの騰落率は、ベンチマークであるJPモルガンEMB I グローバル・ダイバーシファイド（円ヘッジベース）の騰落率を1.4%下回りました。主な要因は以下の通りです。

#### 外国投資信託保有以外の要因

信託報酬などの運用上の費用を計上したことなどがマイナス要因となりました。

#### 外国投資信託保有による要因

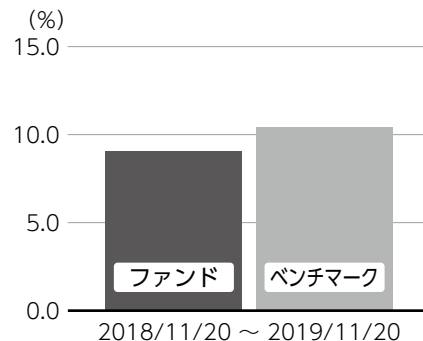
##### プラス要因

国別配分戦略において、ブラジルに対して積極姿勢としたことやレバノンに対して消極姿勢としたこと。

##### マイナス要因

国別配分戦略において、アルゼンチンに対して積極姿勢としたこと。

基準価額（当ファンド）と  
ベンチマークの対比（騰落率）





## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第6期 2018年11月21日～2019年11月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	3,082

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ **ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース（為替ヘッジあり）（年1回決算型）**  
円建て外国投資信託への投資を通じてエマージング債券を高位に組み入れた運用を行うほか、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持していく方針です。

▶ **ピムコ エマージング ボンド（エン・ヘッジド） インカム ファンド**  
米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券を高位に組み入れた運用を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

エマージング諸国への投資に関しては、各国の通商政策などが及ぼす影響を見極め、投資国を選別することが重要と考えています。

具体的には、ウクライナについては、2019年5月に就任したゼレンスキー大統領の政策に期待が高まっていることなどから積極姿勢とする方針です。一方、中国やフィリピン、マレーシアなどのアジア諸国については、相対的な割高感や米中貿易摩擦による中国経済への影響が懸念されることなどから消極姿勢とする方針です。

なお、保有外貨建資産に対し、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**  
物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

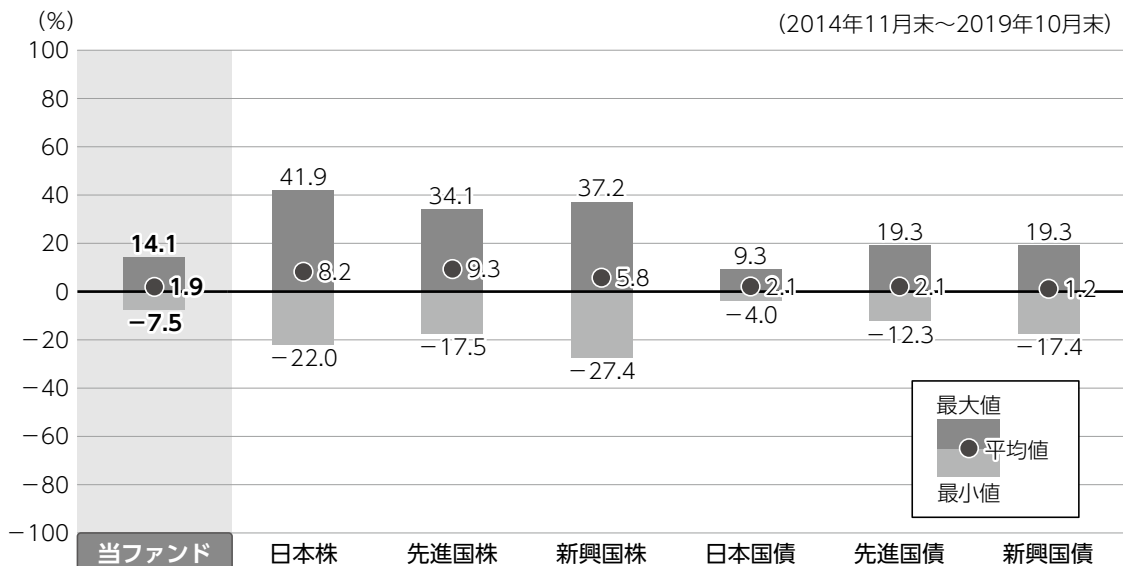
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2028年11月20日まで（2013年10月31日設定）
運用方針	<p>主として円建ての外国投資信託であるピムコ エマージング ボンド（エン・ヘッジド）インカム ファンドの投資信託証券への投資を通じて、新興経済国の政府および政府機関等の発行する債券等に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。J PモルガンEMB Iグローバル・ダイバースファイド（円ヘッジベース）をベンチマークとします。ポートフォリオの実質的な平均デュレーションは原則として3年以上8年以内で調整します。実質的に投資する公社債は、原則として取得時においてCCC－格相当以上の格付を有しているものに限るものとし、ポートフォリオの実質的な平均格付は原則としてB－格相当以上を維持します。実質的な組入外貨建資産については、原則として投資する外国投資信託において為替ヘッジを行います。運用指図に関する権限は、ピムコジャパンリミテッドに委託します。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド ピムコ エマージング ボンド（エン・ヘッジド）インカム ファンド投資信託証券、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ピムコ エマージング ボンド（エン・ヘッジド）インカム ファンド 新興経済国の政府、政府機関等が発行もしくは信用保証する債券およびその派生商品等を主要投資対象とします。原則として、為替ヘッジを行い、為替リスクの低減を図ります。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年11月から2019年10月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマーシング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2019年11月20日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	第6期末 2019年11月20日
ピムコ エマーシング ボンド（エン・ヘッジド） インカム ファンド	100.1%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%

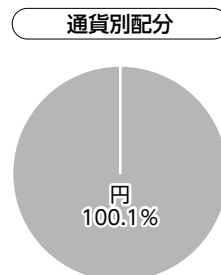
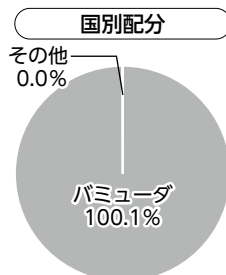
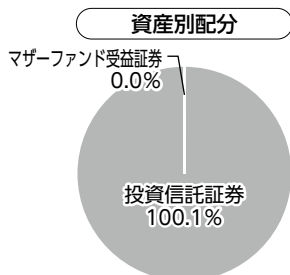
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第6期末 2019年11月20日
純資産総額 (円)	276,518,717
受益権口数 (口)	241,273,182
1万口当たり基準価額 (円)	11,461

※当期中において追加設定元本は202,940,875円  
同解約元本は 5,654,509円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

2018年10月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ピムコ エマージング ボンド (エン・ヘッジド) インカム ファンド

基準価額の推移

2017年10月31日～2018年10月31日



基準価額以外の開示情報につきましては、「ピムコ エマージング ボンド インカム ファンド (M)」ベースで表示しています。

1万口当たりの費用明細

2017年11月1日～2018年10月31日  
 ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用 (信託報酬) はありません。

▶ ピムコ エマージング ボンド インカム ファンド (M)

組入上位10銘柄

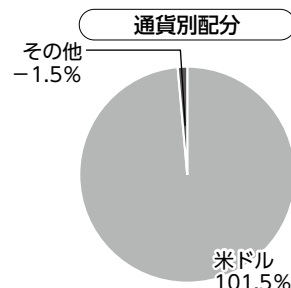
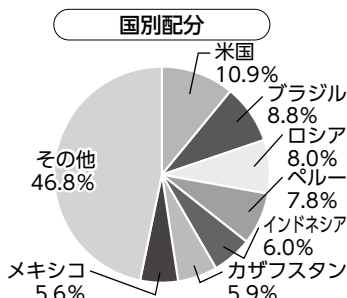
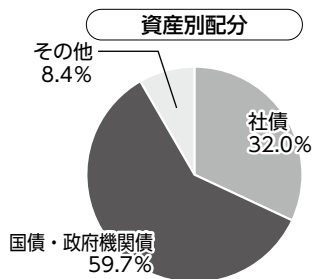
(組入銘柄数：208銘柄)

銘柄	国	比率(%)
1 SBERBANK (SB CAP SA) LPN COCO	ロシア	2.1
2 INDONESIA (REP OF)	インドネシア	1.9
3 GAZPROM (GPN CAPITAL) SR UNSEC REGS	ロシア	1.7
4 PETROBRAS GLOBAL FINANCE SR UNSEC	ブラジル	1.7
5 BRAZIL MINAS SPE REGS	ブラジル	1.5
6 EXPORT CREDIT BANK OF TU SR UNSEC REGS	トルコ	1.3
7 CODELCO INC SR UNSEC REGS	チリ	1.2
8 OMAN GOV INTERNTL BOND REGS	オマーン	1.2
9 REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	南アフリカ	1.1
10 PERUSAHAAN GAS NEGARA SR UNSEC REGS	インドネシア	1.1

※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

種別構成等



※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※ピムコ エマージング ボンド (エン・ヘッジド) インカム ファンドにおいて為替ヘッジを行っており、実質的な通貨別比率は円100.0%です。

968469

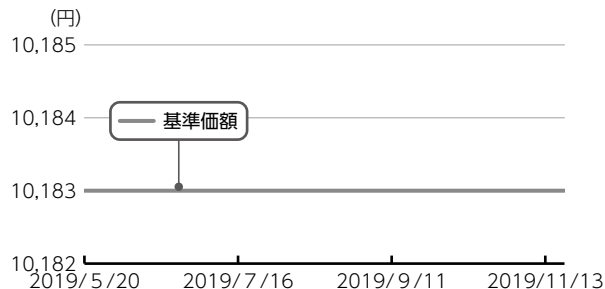
2019年11月20日現在

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2019年5月20日～2019年11月20日



1万口当たりの費用明細

2019年5月21日～2019年11月20日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,183円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1銘柄)

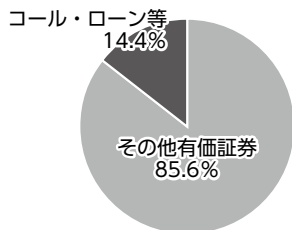
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	イオンプロダクト 191121	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	85.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

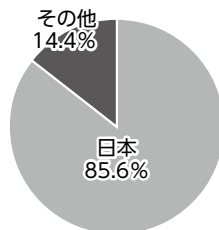
※なお、その他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

種別構成等

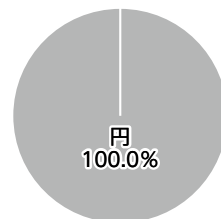
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの  
 余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。



# 指数に関して

## ▶ ファンドのベンチマークである『J P モルガン EMB I グローバル・ダイバーシファイド（円ヘッジベース）』について

J P モルガン EMB I グローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。組入比率の調整を行わない指数として J P モルガン EMB I グローバルがあります。J P モルガン EMB I グローバル・ダイバーシファイド（円ヘッジベース）は、J P モルガン EMB I グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）をもとに、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが計算したものです。当指数は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに所属しております。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● J P モルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド

J P モルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信